平成１９年６月２５日

（ご案内）

10年ぶりに祇園祭・祇園囃子イベントを復活します！

7月10日(火)

大阪・天満橋で、京都・祇園祭の「祇園囃子」を本番よりひと足先に披露
舞妓さんや浴衣姿の女性が祇園祭をPR！

◎祇園囃子の演奏
◎舞妓さんや浴衣姿の女性が通行のお客さまに厄除けのちまきや京阪電車オリジナルうちわを配布。
◎7月10日(火)午前9時20分　京阪電車天満橋駅構内(京阪シティモール前広場)

平成３（1991）年に京阪電車京橋駅前で開催したときの様子

京阪電車では、来る7月10日（火）午前9時20分から、京阪電車天満橋駅構内（京阪シティモール前広場）で、10年ぶりに京都・祇園祭の名物「祇園囃子」を実演します。これは、祇園祭のクライマックスである、16日（祝・月）の宵山、17日（火）の「山鉾巡行」に先駆けて、放下鉾（ほうかぼこ）のお囃子衆が京情緒たっぷりの祇園囃子を披露し、日本三大祭のひとつ・祇園祭のムードを本番よりひと足先に大阪の人々に味わってもらおうというものです。

当日、祇園の舞妓さんが登場して浴衣姿の女性と一緒に放下鉾の「厄除けのちまき」や「2007 京阪沿線 夏の風物詩・おけいはんオリジナルうちわ」を無料で配ります。

また、会場に京都・八坂神社で授かった安全輸送祈願の御札とちまきを祀ります。

なお、本イベントは昭和 41 年に淀屋橋駅にて第 1 回目を開催し、その後会場を変えながら平成 9 年まで 32 年間続けましたが、それ以降諸般の事情により中断していました。京阪グループでは経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」で、京都エリアの魅力向上を重要施策のひとつと位置づけており、京都の情報発信を強化していく取り組みの一環として、今回10年ぶりに復活するものです。

詳細は以下の通りですので、ご多忙のこととは存じますが、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

記

【主　催】　京阪電気鉄道株式会社

【日　時】　平成19年7月10日（火）

午前9時20分～午前10時15分（雨天決行）

【場　所】　京阪電車天満橋駅構内（京阪シティモール前広場）

大阪市中央区天満橋京町1番1号　TEL 06-6941-0007（京阪天満橋駅）

【出　演】・放下鉾（ほうかぼこ）祇園囃子保存会　13 名

代表相談役　加福　増蔵（ｶﾌｸ ﾏｽｿﾞｳ　80 歳）

・祇園甲部舞妓　2名（豆ちほ　ﾏﾒﾁﾎ　17 歳、　豆はな　ﾏﾒﾊﾅ 16 歳）

・司会者（フリーアナウンサー　山口　進　ﾔﾏｸﾞﾁ ｽｽﾑ）

・京阪電車お客さまサービス事業部大阪エリア統括駅長

・浴衣娘　5名

【内　容】

①京阪電車天満橋駅（京阪シティモール前広場）の特設舞台の上で、放下鉾（ほうかぼこ）祇園囃子保存会のお囃子衆13名が、鉦や太鼓、横笛などで、「コンチキチン、コンチキチン」と祇園囃子のおなじみのフレーズをにぎやかに披露します。

②上記演奏をバックに祇園の舞妓、大阪エリア統括駅長、駅女性スタッフや浴衣姿の女性が通行客に「厄除けのちまき（500 本）」や涼を呼ぶ「2007　京阪沿線　夏の風物詩・おけいはんオリジナルうちわ（1000 本）」を配り、祇園祭をＰＲします。

③会場に京都・八坂神社で授かった安全輸送祈願の御札とちまきを祀ります。

進行は以下のとおりです。

[進　行　表]　　《京阪電車天満橋駅構内･京阪シティモール前広場》

9時20分　　「祇園囃子」の演奏開始

浴衣姿の女性による「おけいはんｵﾘｼﾞﾅﾙうちわ」と祇園祭ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ配布

↓

30分　　司会者挨拶と催しの説明

↓

35分　　「祇園囃子」の演奏

浴衣姿の女性による「おけいはんｵﾘｼﾞﾅﾙうちわ」と祇園祭ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ配布

↓

45分　　司会者から放下鉾祇園囃子保存会代表者へインタビュー

↓

50分　　司会者から京阪電車･大阪エリア統括駅長の紹介とインタビュー

司会者から舞妓さんの紹介とインタビュー

↓

10時00分　**「祇園囃子」の演奏**

舞妓さん、京阪電車･大阪エリア長、駅女性スタッフ、浴衣姿の女性による

「放下鉾の厄除けのちまき」と「おけいはんｵﾘｼﾞﾅﾙうちわ」配布

↓

15分　　終　了

〈参考資料〉

『京阪電車の祇園祭イベントの歴史』

京阪電車では、昭和 41 年に淀屋橋駅において、祇園囃子イベントを開催しました。以降会場を京橋駅に変えながら、平成9年までの32年間夏の恒例行事として毎年実施してまいりました。その後、中止しておりましたが、京阪グループでは経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」で、京都エリアの魅力向上を重要施策のひとつと位置づけており、京都の情報発信を強化していく取り組みの一環として、今回 10 年ぶりに天満橋駅前で開催いたします。

	開　催　年	会　　場
第 1～6 回	昭和41年～46年	淀屋橋駅
第 7～10 回	昭和47年～50年	午前：淀屋橋駅 午後：京橋駅
第 11～32 回	昭和 51 年～ 平成 9 年	京橋駅

『放下鉾』

所在は、京都市中京区新町通四条上ル。鉾に放下僧の像を祭っていることが、鉾の名称の由来。また、鉾頭が日･月･星の三光が下界を照らす形を示し、その姿が州浜団子（すはまだんご）に似ていることから「すはま鉾」とも呼ばれています。

『厄除けのちまき』

無病息災･厄除けのため玄関に1年間飾ります。食べるちまきではありません。

『祇園囃子』

祇園囃子は鉦（かね）、太鼓（たいこ）、笛（ふえ）の 3 つの楽器で演奏されます。笛は能楽に使われる「能管」です。鉦は「鉦すり」と呼ばれる専用バチでたたきます。柄は鯨のひげで出来ていて、頭の部分は鯨の骨と鹿の角ともいわれています。曲は約40曲ほどあり、太鼓方がどの演奏するかを決めます。曲は奉納囃子と戻り囃子の2つに大きく分けることができますが、すべて連続して演奏されます。

＜祇園祭の主な行事＞

日	時間	行事名	内容
1～5		吉符入	神事始めの意味で、祭の打ち合わせなどが行われる
1	10 時	長刀鉾町お千度	稚児を伴って八坂神社へ参拝
2	10 時	くじ取式	京都市役所で山鉾巡行の順番を決める
10～14		鉾建･山建	各山鉾町で鉾や山の組み立てが始まる
10	16 時 30 分 ～21 時	お迎提灯	神輿洗の神輿を迎えるため、提灯をもった行列が八坂神社を出発。市役所、寺町、四条を経て同神社へ戻り、神前に踊りを奉納。神輿を迎える
	20 時 ～20 時 30 分	神輿洗	松明を先頭に、神輿を四条大橋へ運ぶ。鴨川の水で神輿を清める儀式が行われる
12～14		鉾曳(ひき)初め･ 山舁(かき)初め	各山鉾の試し曳き(舁き)が行われ、祇園囃子も流れ始める
13	11 時	稚児社参	長刀鉾の稚児が八坂神社に詣でる
	14 時	久世駒形稚児社参	南区久世から駒形稚児の社参が行われる
14～16	夕刻	宵山	駒形提灯に明かりがともり、祇園囃子が奏でられる。山鉾町では家宝や屏風などを飾る家もあり、「屏風祭」とも言われる
15	15 時～18 時	伝統芸能奉納	八坂神社の能舞台で、今様歌舞楽･一絃琴･琵琶･狂言･地唄舞･箏曲･尺八･詩吟など多彩な演舞が奉納される
16	9 時	献茶祭	八坂神社本殿で、表千家･裏千家の家元が隔年で奉仕する。今年の奉仕は裏千家
	19 時	石見(いわみ)神楽奉納	八坂神社の能舞台で行われる
17	9 時	山鉾巡行	(前ページ参照)
	16 時	神幸祭	八坂神社本殿にて祭典
	18 時	神輿渡御出発式	3 基の神輿が八坂神社を出発、それぞれに氏子区域を巡り、四条御旅所へ向かう。神輿は還幸祭まで御旅所に鎮座する
23	9 時	献茶祭	八坂神社本殿で、在洛の煎茶道家元の奉仕により行われる
	15 時	琵琶奉納	八坂神社の能舞台で行われる
24	10 時	花傘巡行	(前ページ参照)
	17 時	還幸祭	御旅所の 3 基の神輿が八坂神社へ帰る行事。それぞれに氏子区域を巡り、八坂神社へ向かう
25	13 時	狂言奉納	八坂神社の能舞台で、茂山忠三郎社中の奉仕により行われる
28	20 時	神輿洗い	松明を先頭に、神輿が四条大橋へ。鴨川の水で神輿を清める儀式が行われる
29	16 時	神事済奉告祭	祇園祭の終了を神前に奉告する
31	10 時	疫神社夏越祭	八坂神社内の疫神社の鳥居に設けられた茅の輪をくぐり、厄除･無病息災を祈願する

祇園祭

祇園祭は東京･神田祭、大阪の天神祭と並んで日本三大祭の一つ。京阪沿線で行われ、例年、多くの人でにぎわう。

祇園祭（ぎおんまつり）

【期　間】 7 月 1 日(日)～31 日(火)

八坂神社

□京都市東山区祇園町北側 625
□TEL075-561-6155
□http://web.kyoto-inet.or.jp/org/yasaka/

祇園祭は八坂神社の祭礼。貞観 11 年(869 年)、京の都に疫病が流行した時、神泉苑に 66 本の鉾を立てて祇園社の神輿を送り、災厄の除去を祈ったのに由来する。年中行事として定まったのは元禄元年（970 年）から。7 月の 1 カ月間、様々な行事が続き、「コンチキチン」の祇園囃子が京の町に響き渡る。14 日(土)～16 日(祝･月)の宵山の夕刻からは四条通などが歩行者天国となり、夜店も立ち並び、通りは人で埋めつくされる。祭のハイライトは 17 日(火)の山鉾巡行で、山鉾を方向転換させる豪快な「辻廻し」が最大の見せ場となる。

◆山鉾巡行

長刀鉾を先頭に、ゴブラン織や西陣織などで豪華に飾られた計 32 基の山鉾が四条烏丸を出発し、「コンチキチン」の祇園囃子を奏でながら、四条通、河原町通、御池通を巡行する。見どころは、四条堺町北側で行われる巡行順を確認する「くじ改め」と、10 数トンもある巨大な鉾を直角に方向転換させる「辻廻し」。

【日　程】 7 月 17 日(火)
【コース】 四条烏丸(9:00)－[四条通]－四条河原町(9:45 頃)－[河原町通]－河原町御池(10:30 頃)－[御池通]－新町御池(11:35 頃)－[新町通]
※(　)内の時刻は、先頭の長刀鉾の通過予定時刻

◆花傘巡行

花傘とは、山鉾の原型といわれるもので、台車に色とりどりの花に覆われた傘がたてられたもの。この花傘とともに、花街の綺麗どころをはじめ、祇園囃子の屋台、武者装束の人々、獅子舞、子ども神輿など総勢千人の行列が京の町を練り歩く。八坂神社帰着後、12 時 30 分頃から祇園太鼓、獅子舞などの奉納行事が行われる。

【日　程】 7 月 24 日(火)
【コース】 八坂神社･祇園石段下(10:00)－[四条通]－四条河原町(10:30 頃)－[河原町通]－河原町御池－[御池通]－寺町御池(11:00 頃)－[寺町通]－四条寺町(11:30 頃)－[四条通]－八坂神社(12:00 頃)　※(　)内の時刻は、先頭の通過予定時刻

●八坂神社へは、「四条駅」下車　東へ徒歩約 5 分